

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
益子町	大羽	R 3 年 3 月 1 2 日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	233.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	140ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	90.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	41.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8.7ha
(備考)	

2 対象地区の課題

70歳以上の農業者の耕作面積が地域の38%を占め、また、18%が後継者のいない農地となっており、耕作放棄地が増えてきている。中心経営体は、法人・耕種農家・果樹農家・畜産農家となっており規模拡大の意向のある農業者が少ないため、地域外の担い手による農地の引き受けを検討する必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

法人や規模拡大意向のある農業者に集積・集約化を進めていく。また、地域外の担い手として、新規参入者、企業参入等を想定し、町と連携して参入意向者への情報提供に努める。

多面的機能支払交付金を活用し、農地を良好な状態で維持するための共同活動に取り組む。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

地域外の担い手の参入に備え、すぐに耕作可能な状況を維持・管理する。

地域おこし協力隊が営農しているほ場を中心に果樹団地の振興を図る。

高齢化で自作が厳しくなる農地は、法人に集積・集約化する。